

いのちと暮らしの危機を打開し、 希望ある未来をgoいっしょに あなたの入党を心からよびかけます



新型コロナウイルスの感染が日本でも世界でも急激に広がっています。感染収束までの道のりは長期化が予想され、世界はいま、感染症としては戦後最悪といわれる危機に直面しています。

さしせまる命と暮らしの危機

日本での感染者は大都市部を中心に増え続け、安倍政権は7日、「緊急事態宣言」を発しました。感染の爆発的拡大を抑え込み、収束させていくには、人と人との接触を最大限減らすことが決定的です。外出自粛、イベント中止の要請、学校の休校など、国民のくらしと経済への影響が長期に続くことが予想されます。

これらにより、国民の生活は一変しつつあります。仕事が大幅に減り、収入の道がたたれる、倒産・廃業する、子育てや介護が苦境にたたされるなど、強い不安が広がっています。

「自粛と一体に補償を」強く求めます

私たちは、爆発的な感染を防止するために、政府が国民に納得できる説明をおこなうとともに、「自粛と一体に補償を」の声を広げに広げ、労働者、フリーランス、自営業者、事業者への十分な補償を国の責任でただちに実施することを強く求めています。これは多くの人たちの一致した要求となり、政治を動かすはじめています。

日本共産党は、国会、地方議会はもちろん、地域、職場、学園の草の根でも、いのちとくらしの危機から国民を守るために全力をあげています。国民全体が苦難に直面しているいまこそ、困っている人たちに政治の光をあて、政治の責任を果たさせる社会的連帯の力を発揮するときです。

日本と世界のあり方が問われています

新型コロナ危機により、日本と世界の政治と経済のあり方はこれでいいのかが鋭く問われています。巨大企業の利益を最優先し、貧困と格差の劇的な拡大、医療・社会保障の削減など国民のいのちとくらしを守る政治の責任を投げ捨ててきたこと——新自由主義のまん延が、危機をいちだんと深刻にしています。

新型コロナ感染も、気候変動も、人類が直面する危機を打開する力をもたない政治と経済のあり方を変えなくては、未来に希望をもつことはできません。

日本共産党綱領は、危機のなかで問われている政治と経済のあり方を変える日本の民主的改革への道すじを明らかにしています。そして、「人間による人間の搾取もなく、抑圧も戦争もない、真に平等で自由な人間関係からなる共同社会の実現」という未来社会の展望を示しています。この機会にぜひ、綱領をお読みください。

*

*

危機が迫るいま、1人ひとりのかけがえのないいのち、くらしを守るために献身する日本共産党に、あなたが入党されることを心からよびかけます。

国民を苦難に陥れる政治と経済のあり方をおおもとから変える展望はどこにあるのか、ともに学び、希望ある未来社会への道をgoいっしょにひらきましょう。